

下妻市人権教育講演会を開催

市は8月7日、千代川公民館において「パパは女子高生だった」をテーマとした人権教育講演会を開催しました。

講師を務めたのは、Like myself代表の前田良さん。前田さんは1982年に「女性」として生まれましたが、小さい頃から性別に違和感を感じていたそうです。2008年に戸籍上の性別を「男性」に変更し、第三者からの提供を受けた人工授精によって子どもを授かりましたが、出生届が受理されず裁判を起こすことになりました。一審、二審では認められなかったものの、最高裁では親子関係を認める判決を勝ち取りました。

今回の講演会では、前田さんの体験を通して、多様な性のあり方について学ぶ機会となりました。参加者からは「自分らしく生きることの大切さを感じた」「偏見をなくし、お互いを尊重することが重要」といった感想が寄せられました。

図 福祉課



千代川中の青柳乃愛選手が全国大会で2位

千代川中学校の青柳乃愛選手が、8月17日から20日に福井県で開催された「第51回全日本中学校陸上競技選手権大会」に出場し、共通女子走高跳で1m63を記録。見事2位の成績を収めました。

青柳選手は、第70回全日本中学校通信陸上競技茨城大会と令和6年度県民総合体育大会中学校大会では、全国大会参加標準記録の1m60をクリア。両大会ともに第2位に入賞しました。

青柳選手は、全国大会出場前の8月9日に行われた表敬訪問の際にも、「大会で自分の力を出し切りたい」と意気込みを語っていました。そして、大会後には、「全国大会でいい結果が残せてよかった」と喜びの言葉を述べています。入賞おめでとうございます。

図 学校教育課



左から人見さん、島田さん

農業経営士と青年農業士が表敬訪問

7月23日市役所において、新たに委嘱された農業経営士の島田智史さん(51歳)と青年農業士の人見一成さん(31歳)が、菊池市長を表敬訪問しました。

島田さんは12年前の平成24年に就農し、米・麦・そば・ねぎを生産しており、特に米については、(株)百笑市場を通して海外にも輸出しています。一方、人見さんは10年前の平成26年に就農し、外国人技能実習生を活用しながら、白菜やキャベツ、リーフレタス、ねぎ、チンゲン菜などの大規模な露地野菜栽培に取り組んでいます。

今後は、自らの経験を活かし、行政や関係機関と連携して、下妻市の農業者への指導や新規就農希望者への助言などで活躍が期待されます。

図 農業政策課



感謝状を受け取る青龍楽校少年団・団長の倉持朋広さん(左)
(関東地方整備局下館河川事務所提供)

青龍楽校少年団が河川愛護団体として表彰

青龍楽校少年団が、7月24日に河川愛護活動の取り組みが認められ、表彰されました。この表彰は、下館河川事務所が川とのつながりの中で、地域の活性化、地域環境の美化、子どもたちへの環境教育など地域に貢献し、他の模範となる活動を持続的に行っている団体等に感謝状を贈るものです。

青龍楽校少年団は、鬼怒川での自然体験や学習を通して、川の自然との関わりについて学び、自分たちの住む地域との関係や郷土愛を誇りとして、守り育てていくことを目的としています。水辺についての知識を学び、カヌー、カヤックの体験や鮭の稚魚放流会を体験するなど、河川への愛着と環境保護意識の醸成に取り組んでいます。

今後も、子どもたちの自然体験を通して、地域の河川環境保全活動を続けていくことが期待されます。

図 生涯学習課

下妻産梨「幸水」のトップセールスが大田市場で開催

8月1日、東京・大田市場において、下妻産の梨「幸水」の菊池市長によるトップセールスが行われ、梨の魅力をアピールしました。

全国でも名高い産地の一つである下妻産の梨は、近年高い評価を受けています。2020(令和2)年には下妻市果樹組合連合会が日本農業賞の集団組織の部で大賞を受賞し、2022(令和4)年には全国梨選手権で「恵水」が最高金賞を受賞するなど、その品質の高さが証明されています。

下妻産の代表品種である「幸水」は、大きな果実に重量感があり、白い果肉はきめ細かくジューシーな食感が特徴。さらに、糖度が高く甘みも強いいため、梨好きにはたまらない逸品です。

今回のトップセールスでは、市場関係者から「幸水」の試食が好評を得ました。このイベントを通して下妻産梨のさらなる販路拡大と知名度向上を目指します。

図 農業政策課



アマチュアゴルフ連盟から寄付金が贈呈

8月8日、下妻市アマチュアゴルフ連盟の小林陽二会長と飯田智副会長が、下妻市役所を訪れ、菊池市長に寄付金65,630円を手渡しました。

この寄付金は、5月に開催された「令和6年度下妻市民ゴルフ大会」のチャリティー募金から集まったものです。大会には116名の参加者があり、その募金が今回の寄付金となりました。

小林会長は、「下妻市のスポーツ振興のために役立てていただきたい」と話していました。

いただいた寄付金は、大切に使用させていただきます。

図 生涯学習課



左から飯田副会長、小林会長、菊池市長

有料広告欄

有料広告欄